

Q. 学生とのコミュニケーションにはどのような取り組みがありますか？



大津市 浮御堂(満月寺)

🐦 インターンシップ生の受け入れ

当行では、就職活動を控えた大学生に対し、就業体験機会を提供する「インターンシップ」を実施し、毎年各大学より十数名を受け入れています。



🐦 滋賀銀行のCSRについて考える ～コーオプ演習生の受け入れ～

コーオプ演習とは、企業が抱える課題に大学院生と学部生が一体となって取り組み、半年間かけてその解決をめざす教育プロジェクトです。

平成19年9月、CSR室にて2チーム11名を2日間企業研修として受け入れ、『滋賀銀行のCSRにおける新たな企画』をテーマに、学生と活発な意見交換を展開。

平成19年12月には、プロジェクトのまとめとして、2チームそれぞれが学生ならではの自由な視点、発想で、当行のCSRに対し新たな企画を提案しました。



🐦 21世紀の課題とCSR経営をテーマに 京都学生祭典「KYO-SENSE勉強会」で 高田頭取が講演

🐦 女性の働き方を考える 女性セミナーの開催



大学生への就職活動支援として、約3,000名に対して、広く金融業界、銀行業務について理解してもらうため、本店と各大学において業界研究セミナーを開催しています。加えて、女性を対象とした女性スタッフによる就職セミナーを本店で開催するなど、女性ならではの疑問・質問にもお答えしています。



平成20年6月12日、キャンパスプラザ京都にて、京都学生祭典実行委員の学生が運営する、環境に配慮したライフスタイルを提案するKYO-SENSEプロジェクトの勉強会が開催され、高田頭取（現会長）が講演しました。

高田頭取は、21世紀の課題として“平和と環境”を挙げ、当行の「アジアビジネスを積極的に支援することによる、民間ベースでの世界平和実現への取り組み」や、「省エネ活動をはじめ、お金の流れを通じて地域の皆さまの環境保全活動の支援に努める当行のCSR経営」について紹介。

学生らには、「“平和と環境”の課題解決には、若い力が必要であり、それを当行もサポートしたい」と、京都学生祭典の活動に対しての期待を述べました。

